

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。



高齢者の交通事故発生状況

令和6年8月末

1 高齢者事故の発生状況

令和6年8月末現在の高齢者（65歳以上の人）が死傷した交通事故は、前年と比較して発生件数及び負傷者数は減少していますが、死者数は大きく増加しています。

死傷者の状態別では、四輪車運転中が約4割（379人中167人。44.1%）を占めて最も多く、次いで歩行中が約2割（90人。23.7%）を占めています。

また、高齢者の死者19人中、歩行中が7人、自転車が5人となっています。

【高齢者事故の発生状況】

（令和6年8月末速報値）

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	343	19	19	91	269	360
前年	356	11	11	87	291	378
増減数	-13	8	8	4	-22	-18
増減率	-3.7	72.7	72.7	4.6	-7.6	-4.8

【状態別高齢死傷者数】

（令和6年8月末速報値）

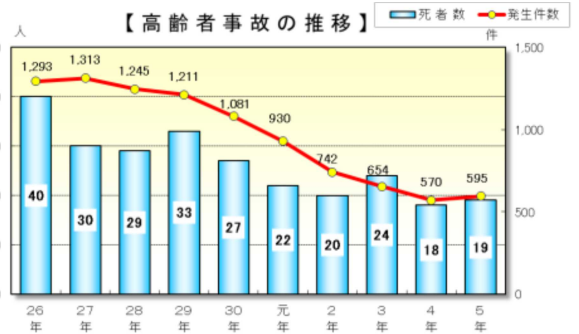
区分	歩行中	四輪運転	四輪同乗	二輪乗車	自転車	その他	計
死者	7	3	2	1	5	1	19
構成率	36.8	15.8	10.5	5.3	26.3	5.3	100.0
重傷者	44	17	7	10	13		91
構成率	48.4	18.7	7.7	11.0	14.3	0.0	100.0
軽傷者	39	147	57	4	22		269
構成率	14.5	54.6	21.2	1.5	8.2	0.0	100.0
死傷者	90	167	66	15	40	1	379
構成率	23.7	44.1	17.4	4.0	10.6	0.3	100.0

2 高齢者事故の発生推移（基礎データ平成26年～令和5年）

全人身交通事故が10年間で55.9%減少（平成26年9,142件→令和5年4,033件。-5,109件）しているところ、高齢者事故は54.0%の減少（平成26年1,293件→令和5年595件。-698件）となっています。

令和5年は、全交通事故死者の約4割（47人中19人。40.4%）を高齢者が占め、本県の高齢化率（※28.9%）を上回りました。

※ 高齢化率＝人口に占める高齢者の割合（令和5年1月1日現在。住民基本台帳より）



区分	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	
高齢者	発生件数	1,293	1,313	1,245	1,211	1,081	930	742	654	570	595
	死者数	40	30	29	33	27	22	20	24	18	19
	負傷者	1,392	1,448	1,363	1,303	1,166	1,011	785	701	596	629
全事故	発生件数	9,142	8,624	7,986	7,491	6,815	5,675	4,487	4,286	4,117	4,033
	死者数	83	66	71	51	56	65	44	42	37	47
	負傷者	11,703	10,913	10,057	9,353	8,509	6,941	5,483	5,182	4,912	4,932
構成率	発生件数	14.1	15.2	15.6	16.2	15.9	16.4	16.5	15.3	13.8	14.8
	死者数	48.2	45.5	40.8	64.7	48.2	33.8	45.5	57.1	48.6	40.4
	負傷者	11.9	13.3	13.6	13.9	13.7	14.6	14.3	13.5	12.1	12.8

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

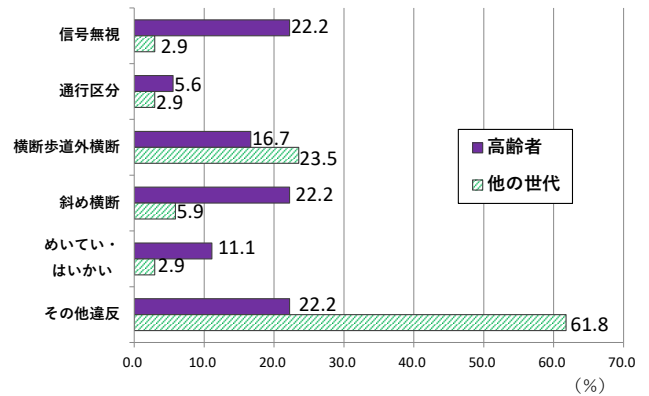
3 高齢者事故の発生特徴等 (基礎データ令和6年8月末速報値)

(1) 歩行中の構成率が他の世代よりも高い

高齢死傷者の状態別で最も多いのは、四輪車運転中(379人中167人、44.1%)ですが、歩行中についても多く(90人、23.7%)、他の世代の歩行中死傷者(2,545人中232人、9.1%)と比較すると高い構成率となっています。

また、歩行中の高齢者の死傷者90人中18人(20.0%)に何らかの原因が認められ、そのうち斜め横断と信号無視が、それぞれ4人(22.2%)と多くなっています。

【歩行者の原因】

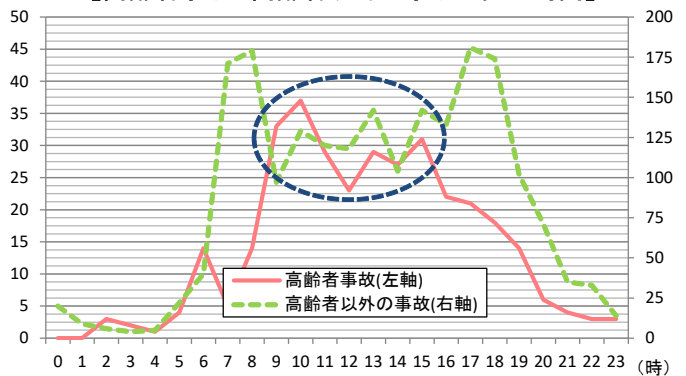


(2) 日中時間帯の発生が多い

昼夜別では、昼間の発生が79.0%(343件中271件)と、他の世代(2,051件中1,558件、76.0%)と割合はほぼ変わらないものの、他の世代よりも日中時間帯に発生が集中しています。

高齢者以外の事故は朝夕の通勤・通学時間帯に多発し、それ以外の日中時間帯は減少するのに対し、高齢者事故は朝の発生は少なく、9時台から15時台の時間に多発しています。

【高齢者事故と高齢者以外の事故の発生時間】



4 過去10年間の高齢者事故の発生特徴

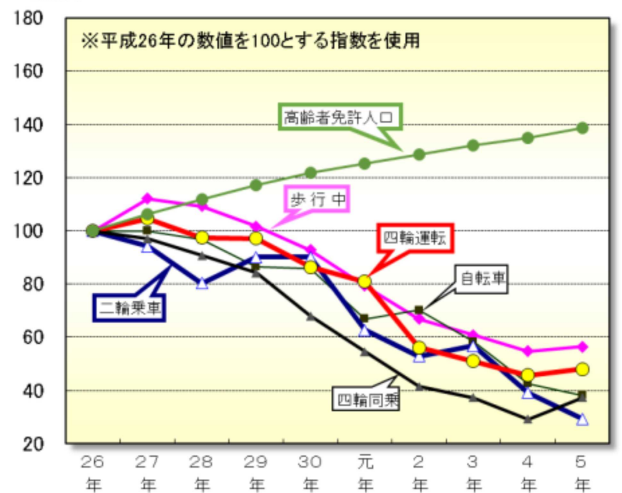
(基礎データ平成26年～令和5年)

(1) 状態別では増減しながら減少傾向

状態別で見る死傷者数は全体的に減少傾向にあります。

二輪車乗車中及び自転車乗車中の死傷者数は令和5年は前年より減少しましたが、歩行中、四輪車運転中及び四輪車同乗中の死傷者は、令和5年は前年より増加しました。

【死傷者の状態別推移(指数)】



(2) 高齢者事故の月別発生状況

過去10年間の高齢者事故を分析すると、10月以降に多発する傾向にあり、夕暮れ時(日没前後各1時間)に事故が増加する傾向にあります。

高齢歩行者の死亡事故については、日没が早まる9月以降に増加し、11月がピークとなっています。

【高齢者事故の月別発生件数(H26～R5)】

